

第17回政府現地対策本部会議・第20回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月26日(火) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

別添資料のとおり。

2 被害の状況

死者49名(県警)。その他14名。計63名。

被害多数。(資料参照)

避難者数等は資料のとおり。避難者数約4万人。熊本市約2万人。

3 県等の対応状況

(総務部)

人的支援の状況 800人規模の支援、熊本市には別途1000人

(企画振興部)

航空機 全体の運航数52便には変更はないが、熊本～成田便、熊本～小牧便に変更あり。

(健康福祉部)

被災住宅の応急修理について市町村担当者に説明会実施。

義援金 約18億円

(環境生活部)

ごみ処理施設 4施設がストップ、宇城市や福岡市、北九州市などで広域対応。

熊本市に対し、長崎市、諫早市、大村市が廃棄物の処理、運送に協力。

水道施設 阿蘇市断水2000戸だが、前日から1500戸減。宇城市豊野町断水解消。

(農林水産部)

農林関係の被害額の第1報、236億円。ただし、被害の大きいところは調査自体できていない。第2報までには時間がかかる見込み。

4 国等の対応状況

(国土交通省)

九州道、嘉島ジャンクションから八代まで33km、本日15時一般交通開放。

(気象庁)

本日13時現在、余震914回、震度4以上は本日はないが、引き続き警戒を。

雨は、今夜からあさって昼ごろまで降る見込。

(JR九州)

九州新幹線熊本～新水俣、明日9時に試験走行のうえ、安全が確認されれば明日午後、営業運転再開。

(西部ガス)

本日12時現在、51.4%復旧

5 現地対策本部長の発言

(酒井政務官)

昨日は、お一人の方が見つかった。改めてお悔やみを申し上げます。

あとお一人の方について、早く発見されることを願っている。

水道、ガスの復旧も順調にして下さっている。ガスは、51.4%の復旧率ということで、私が泊まっているところも水風呂からお湯になった。ありがたいと思っている。

今日もグランメッセを見てきたが、少しずつ家に帰られる方が増えてきたのかなという感じがしている。その意味からいくと、復興というか、そういう方向に向けて動き始めている様子になってきているのかなという感じがしている。

そうした中で心配するのは、先ほどから数字に出ているけれども、地震関連でお亡くなりになった方が14名いらっしゃるという報告があった。車の中や避難所でお暮しになる方々、それぞれ、ある意味ではつらい状況になってきていると察する。特に体の不自由な方や赤ちゃんを抱えている人たちは、大変な思いでいらっしゃるだろうと思う。

そういうことの中で、皆さん方が一生懸命努力をしてくださっている。特に、体の不自由な方たちのための施設、750人くらいの確保をしているが、今日の報告では32組73人の人たちが入ったという報告があった。昨日が24組55人だったので、少しは増えているけれども、まだまだかなと思っている。

今日も政府の幹部の方で手を打ちながら、なんとか、もう少し、本当は自分の住んでいるところにいたいんだろうけども、それでは辛くなるから、お医者さん保健師さんと説得しながら、一時的にそういう所に移っていただくこともやっていかないとはいけないと思っている。その時の移動手段も考えないとはいけない。

罹災証明の関係等で、避難所に行ったときに、益城町だったが、情報が入らないという意見があった。NHKや民放さんをお願いしたいが、テレビのテロップに流して頂くとありがたい。

5 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

昨日夕方、高野台で発見された方の死亡が確認された。また、新たに熊本市から災害関連死の方1名の報告があり、今回の地震でお亡くなりになられた方は、63名となった。謹んでご冥福をお祈りいたします。

連日、懸命な捜索が続いているが、依然として1名の方の所在がわからないままである。一刻も早い救助を心から願っている。

明日の夕方から明後日の朝方にかけては、再びまとまった雨が降る模様。余震が続く中、土砂災害には十分警戒いただくようお願いしたい。

避難所生活の長期化に伴い、エコノミークラス症候群やノロウイルスをはじめとする感染症の発生など、健康面、衛生面、さらには、メンタル面のケアが重要となっている。防止策などにしっかりと取り組んでいただきますようお願いしたい。

また、避難所におけるニーズの把握については、国が主導して、i p a dを活用した支援物資の供給システムが導入されつつある。これによって、被災者の方々のニーズに即した生活支援が実現できると思っている。

昨日は、村田副知事に、関係各省への緊急要望のため、上京してもらった。特に支援をお願いしたい10項目について、本県の実情を交えながら、しっかりと伝えてもらった。

国においても、補正予算で最大限の支援を行うというお約束をいただいております、非常に心強く、またありがたく思っている。これらの支援をいただきながら、復旧・復興を力強く進めてまいりたい。

皆さん、現地での捜索活動や、被災者の方々への生活支援などで、かなりお疲れのことと思うが、一日も早い復旧・復興を目指して、「チームくまもと」として一緒に頑張っていきましょう。

(以 上)